



13時 場作りへのこだわり



14時 斬新なインタビュー方法



15時 編集部、パニック！

SOCIAL & CREATIVE



PHOTO GARALLY

2015/09/07 13:00-19:00

なぜ、「つくる」にこだわるのか。



16時 I am super star!



17時 記事の構成に専念中



18時 休憩？現実逃避？

自分たちで活動のデザインをすることはなぜ重要なのかな。それを考えることは今回の合宿で大きな意味があると思う。わたしたち、特に4年生のMELCPRESS'15は、人がつくったワークショップを”こなす”ことに慣れてきたことに、作品の質は重要ではない”ぬるい雰囲気”で行うことが”普通”になってきていることに危機感を覚えた。わたしたちは「ワークショップ慣れ」してしまったのだ。このままでいいの？そんなわけないので、この2日間で「脱・ワークショップ」することにした。

ワークショップの特徴は、ファシリテーターがいること、タイムスケジュールがあること、リフレクションの時間が設けられていることなどがある。これに共通していることは、他者が準備をしてくれていること。

そうか、「ワークショップ慣れ」というのは、他の人が準備したものにつくることができることなのだ。わたしたちはこの感覚から脱出する必要があると思う。だって、イノベーターなんだから。だから意識することは、自ら考えて動くこと、自作自演することで「脱・ワークショップ」することだと思う！いざ、脱出！（村松）